

小学生

- 第20回記念少年少女レスリング『おおまま大会』  
3位 小学生3・4年女子の部  
+36kg級 山倉和華(久賀小)
- 第28回多古町社会福祉大会  
多古町社会福祉協議会会長表彰  
第一小学校児童会、第二小学校児童会  
常磐小学校児童会  
吉次美優(久賀小)  
小島藤五(中村小) 那須愛加(中村小)

中学校

- 第28回多古町社会福祉大会  
多古町社会福祉協議会会長表彰  
橋爪美和
- 第34回北総選抜中学校野球大会  
2位 野球部

高校生

- 第28回千葉県吹奏楽個人コンクール  
高等学校木管楽器部門フルート  
金賞・審査員特別賞・理事長賞  
佐藤奈苗(匠塚高)

一般

- 第28回 多古町社会福祉大会  
多古町社会福祉協議会会長表彰  
平山よし、小川成義、佐藤重雅、工藤祐二  
越川まゆみ、飯田久子

※小中学校の表記については平成27年3月末までのものです。

町長日誌

(3月1日～31日)

3日～18日	議会3月定例会
7日	多古高校卒業式 社会福祉大会
10日	総務・厚生常任委員会
11日	多古中学校卒業式 県道成田小見川鹿島港線竜谷バイパス 開通式(香取市)
12日～13日	予算審査特別委員会
13日	高齢者大学・女性大学合同閉講式
16日	県町村会町村長特別研修会(千葉市)
18日	多古こども園卒園式
19日	第一小学校卒業式 成田空港周辺地域共生財団評議員会(成田市)
20日	成田空港圏自治体連絡協議会勉強会
21日	第3分遣所(中村)消防ポンプ自動車引渡し式 国際交流海外派遣事業ニューズランド出発式(成田市)
24日	県国民健康保険審査会(千葉市)
27日	成田国際空港騒音対策委員会(成田市)
28日	多古町農業協同組合通常総代会
29日	圏央道開通記念「イベント」(神崎・大栄間スカイウォーク)(成田市)
30日	成田国際空港第3ターミナル供用記念式典(成田市) 「成田空港を考える」講演会



**危機はチャンス**  
危機は飛躍するための好機です。通常、危機感がないところで何かを変えようとするのはなかなか受け入れられませんが、危機感がある場合は違います。受け入れられることが多いです。危機感を一般の人たちに広く浸透させることは難しいことですが、活動を展開していくうえで重要になる方、キーになる人たちには分かっている必要があります。これは、もう情ですね。たくさんコミュニケーションを取らなければなりません。ただし、危機感だけでは長く続きません。最初の2年くらいで危機感に慣れちゃうんです。活性化に向けた事業を展開することで、地域にとっていい

**一歩一歩輪を広げる**  
学校の魅力化は、高校だけの問題ではないし、教職員だけで何とかできることでもありません。島前には、ほぼ毎週のようにいろいろな方々が視察に訪れます。しかし、学校だけ、行政だけ、議員だけである方々は、たいてい上手くいつておらず「学校が動かない」「行政に危機感が無い」など相手の批判をすることが多く見受けられます。そういうパターンから脱却していくには、研修会などを通じて一緒にやる機会を多く作る事が大切です。また、地域や学校の職員全

**島前高校：高校、行政、保護者、地域が協働し独自の取り組みを展開。**結果、生徒数は平成20年の89名から26年には156名へ。都内等県外から入学に向けて親子での移住者も増えている。

# 学校は地域経営の急所

## 地域とともに 多古高校コミュニティ・スクール〈その2〉

先月号では、高等学校においてコミュニティ・スクール(以下CS)が取り入れられるようになった背景やCSの説明、多古高校後援会の取り組みなどについてお知らせしました。

今月号では、CSの指定は受けていませんが、存続の危機にあった島根県隠岐郡の県立島前高校をコーディネーターという立場で地域と一体となって学校の魅力化に9年間取り組んできた岩本悠さんを講師に迎え、2月2日に行われた講演会の内容をお伝えします。

(一部概略)



講師の話に聞き入る参加者たち



高校で地域活性化を担う人材を育成する



多くの地域住民が訪れる多古高文化祭

### 「魅力ある学校づくり」×「持続可能な地域づくり」

講師 岩本 悠さん

**学校の存在が地域づくりの要**  
地域の公教育を考えた時に、もっとも重要な存在は学校ですが、もう一つ忘れがちなものが「地域」です。地域にも未来を生き抜いていくために子どもたちにしっかりと力をつけていくために着けさせる役割があるんです。しかし、地

域のその力が人口減少により活力を失ってきています。これが高校の魅力活性化と地域自身の維持にかなりの部分で直結すると思います。地域から高校がなくなるとどうなるのか?15歳から19歳くらいの世代層がいなくなるというわけです。かつ、この町から高校生がいなくなるだけではなく、若い世代は学校が無い場所に子どもと一緒に住もうとは考えませんが、子どもと一緒に外へ出ていくことになるわけです。つまり、中長期的に見た時に学校の存在が地域の存在に直結していくことになるわけです。実は、学校というのは地域経営における大きな急所なんです。多くの人は学校が地域にとって大事だということに気がないわけです。

CSの充実を目指して

千葉県立多古高等学校 校長 圓城寺一雄

平成24年度のCS導入から3年間、小・中学校や多古町との連携を進めながら、各種行事等での活動を通して、本校生徒は、地域の皆様と「ふれあう」貴重な機会をいただきました。この活動により、生徒のコミュニケーション能力や表現力の向上の礎が築かれました。

これから、新たに3力年の指定をいただきましたので、多古町を中心とした地域との協働関係の構築に努めていく中で、多くの方々との「ふれあいの場」をいただき、生徒が社会に参画し、自立して生きていく能力が育まれる活動を実践してまいります。

CS活動の充実により、生徒が地域に貢献する意識を高め、社会的・職業的自立が図られますよう皆様の御指導、御協力をよろしくお願いたします。